

2024 年日本平和大会
(11 月 16 日オンライン開催)
パンフレット学習会
9 月 1 2 日に放映された you tube 動画は
日本平和委員会ホームページでいつでも
スマホ・パソコンで視聴できます。
お話し：千坂純(日本平和委員会事務局長)



平和新聞

山梨版

甲府市 徳行 4-3-17
TEL 055-287-6272
山梨県平和委員会

沖縄連帯行動
11月15日(金)
12月16日(月)
甲府駅南口
毎回12時半から1時、『沖縄の
問題は私たちの問題』と訴えよう。

核にしがみつくる

祝 日本被団協ノーベル賞受賞



核兵器禁止条約の批准推進、総選挙で平和勢力の前進を！

日本被団協のノーベル平和賞受賞おめでとう
ございます。粘り強く声を上げ続けてこられ
た被爆者の皆さまに敬意を表します。山梨県
内で語り部活動を続けておられる被爆二世の
内藤幹夫さんからメッセージを頂戴しました。

このたびは日本被
団協のノーベル平和
賞受賞おめでとうご
ざいます。山梨県原
水爆被爆者の会（甲
友会）といたしまし
ても大変光栄なこと
と思います。現在山
梨県在住の被爆者
の方約50名ほど
です。多い時には
100名ほどの被爆者
の方々がいらつしや
つたということですが
、年齢減少し、平均年
齢も約85歳というこ
とです。当会でも最

盛期には被爆者の方
の語り部活動も10名
ほどの方がされてい
ましたが、現在では
被爆者の方1名と、
被爆二世の私の計2
名となつてしまいま
した。会の運営も被
爆者の方4名と被爆
二世3名の計7名で
行っています。今回
の受賞については何
人かの方からお祝
いのお言葉をいただ
きました。ありがと

日本被団協ノーベル平和賞受賞に寄せて

山梨県原水爆被爆者の会（甲友会）
事務局 内藤幹夫

うございました。
来年は被爆80周年
の年に当たります。
このノーベル平和賞
受賞がもう少し早け
れば、お亡くなりにな
られた、これまで
会を運営してくださ
った方々や、多くの県
内在住被爆者の方々
もさぞお喜びのこと
だったと思います。
存命中に受賞とな
らなかったことが残念
でなりませんか。
しかし、これは、
被爆の実相を伝えて
くださった被爆者の
方に代わって、私た
ち被爆二世や若い世
代の者が伝え聞いた
ことを基に、核兵器
廃絶や平和について
伝えていく、継承者
としての役目がある
と思います。私たち
は今後もこれからを
担う子どもたちなど

核兵器禁止条約批准を求める 意見書決議請願を強めよう

が平和な世の中で暮
らしていききたいと思
います。

核兵器禁止条約の
批准を日本政府に求
める意見書決議は、
9月25日現在、全
国では688自治体議
会で採択され、県・市
区町村合計1788自治
体の38%となってい
ます。山梨県では6自
治体議会（甲府市、

日本平和大会（オンライン大会）に参加しよう

期日：11月16日
13時～15時 全国・海外の仲間と結び、学習・交流する「全体集会」
16時～18時30分 2大テーマで、日本と世界の展望を学習・交流
分科会 大軍拡・戦争国家づくりストップ！軍事同盟から憲法の道へ
分科会 国際シンポジウム：
ASEANの努力に学び、非核平和の東アジア実現を

※どなたでも参加できます：登録と参加費が必要
※キーステーション：平労会館（エンゲルスルーム）
勤医協ビル 他

～国連軍縮週間（10月24日から1週間）に呼応～ 原爆パネルと高校生の絵展

とき 10月24日（木）～29日（火）
ところ 甲府駅「ペディストリアンデッキ」

明 眸

賞は時に「政治
的」と評される
ことがあるが、
今回の日本被団
協への授与は手
放して喜ぶたい。
▼平和委員会組織を
はじめ多くの市民運
動組織は被団協の訴
えに共鳴し、核廃絶
をめざしたのもに運
動を共有できるので、喜び
を共有できるのだが、
日本被団協はどうか。
中野昭巳（てるみ）代
表委員は、電話で祝
意を伝えてきた石破
首相に、核共有や非
核三原則の見直しな
ど「心配で心配でし
うがない」と投げか
けたが、首相は「現
实的な取り組みが必
要」などとして議論
を避けたという（中
国新聞）。被爆国の
相として情けない。
▼山梨県では今年も
新婦人をはじめ多く
の皆さんの尽力で、
各地で原爆パネル展
が開催されている。
喜びもひとしおで、
この受賞が大きな励
みになるでしょう。
▼本紙に寄せられた
内藤幹夫さんのメッ
セージによると、被
爆者の高齢化など、
県内の語り部はわ
ずかに2人とのこと。
当事者や二世のよう
な語り部は務まらな
いとしても、我々に
もできることは継続
していかねばならな
い。世界からの励ま
しを背に受けて。（清

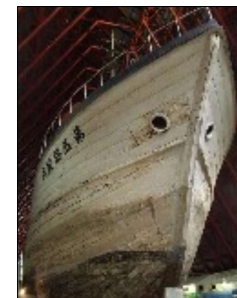
Ⅱ 第五福竜丸 みんなの船Ⅱ 第69回日本母親大会 in 和歌山に参加して

9月28、29日に和歌山県で第69回日本母親大会が開かれました。28日は全体会で記念講演の講師は都立第五福竜丸展示館の学芸員の安田和也さんでした。29日は分科会で平和教育、くらし、ジェンダー、若い世代の分野に分かれて参加しました。

安田さんは、「1954年から1963年までにアメリカ、イギリス、フランス、ロシア、中国が海や地上で2060回もの核実験を行ったこと、核実験の被害者は、ビキニの第五福竜丸と日本の数千隻の船、マーシャル諸島の人々、アメリカ兵だけではなく、世界中には数百万人も

にふれ、「第五福竜丸は核兵器廃絶を目指して航海し続けているみんなの船だ。」と結ばれました。私たちは、核兵器のある世界で生きていくけれど、それは永久に使われないという抑止力論はもはや幻想でしかないことに気づかなければなりません。

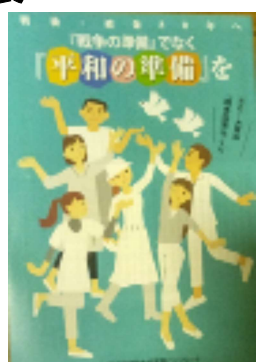
10月11日、核兵器廃絶と日本政府の核兵器禁止条約批准を訴え続けてきた日本被爆者団体協議会（被団協）がノーベル平和賞を受賞しました。来年はヒロシマ、ナガサキの被爆から80年。核兵器禁止条約は世界の宝です。日本政府は一刻も早く条約に批准すべきです。（坂上孝子）



日本平和大会パンフレットで学ぼう

（やります）
◎甲府市平和委員会「平和カフェ」
～「日本平和大会学習パンフレット」で学習～
日時：11月8日（金）14時～
場所：平和と労働会館（甲府市徳行）
講師：山梨原水協事務局長 菅澤三郎さん

（やりました）
FKY（峡東）平和委員会
10月15日に山梨市で、日本平和委員会千坂純事務局長を講師にオンラインで。



山梨県平和委員会は、10月4日、奈良県平和委員会理事長・裁判を支援する会事務局長の河戸憲次郎氏を講師に、オンラインでの学習会を開きました。

自衛隊名簿提供違憲訴訟（RYU裁判）を提起した理由

わがまちの若者の名簿を自衛隊に渡さない

「なぜ私の住所を知っているの？」「なぜ私が高校3年生であることを知っているの？」奈良県の当時高校生のRYU（仮名）さんは自衛隊が個人情報を提供しているのをおかしい？自治体が個人情報を提供しているの？とやめさせることができるの？と

政府・防衛省は自治体に対か？に対して自衛隊法97条の1項、自衛隊法施行令120条を根拠として、自治体に対して資料の提出を求めることが出来るのか？等、事実経過や原告弁護団の主張や国・奈良県の反論なども提示されました。

自治体への申し入れ活動に取組もう

山梨県の各自治体の担当者との面談も計画しようとしている今、これからの方向性にヒントとなる内容豊富な学習会でした。

平和のバトンを手渡したい

笛吹市石和町 池田 誠



第二次世界大戦に向かうとき、坂を転がるように雰囲気を作られ、気づいた時はもう誰も止められない状況だったと聞いたことがあります。今の状況がまさに戦争への坂道を静かに転がだしているような気がしてなりません。先日「戦雲」という映画を見ました。戦争への重苦しい黒い雲が、黙々と空を覆いだしているという意味のタイトル名は今の状態をピタリと言いついていて、と思いました。

もうすでに、特定秘密保護法（平25）、武器輸出三原則見直し（平26）、安全保障

備、基地の強化計画、辺野古新基地建設工事の強行、南西諸島へのミサイル配備、基地の強化計画

任命拒否のまま、軍事研究に対する経済的な誘導・別法人化などの介入が進んでいます。並行するうちに大川原化工機事件、岐阜県の大垣事件、袴田事件の再審、無罪などの報道で、警察のねつ造や監視

た。ナチス最高幹部の「我々は攻撃されかけているのだと煽り、平和主義者に対しては、愛国心がかけているし、国を危険にさらしている」と非難すれば良いのです。このやり方はどこの国でも有効で

障関連法（平27）、盗聴法（平28）、共謀罪（平29）、土地利用規制法（令3）、安保関連三文書（令4）、経済秘密保護法（令6）、地方自治法改正（令6）、食料供給困難対策法（令6）などが法律化されて

画、軍司令部の統合、核兵器禁止条約の批准拒否、占領軍の特権を与える地位協定の保証などが静かに進んでいます。さらに自衛隊への18歳と22歳の名簿提出、歴史修正主義の教科書採択、学術会議への

の実態などを見聞きするにつけて権力側の暴走、独裁になりつつあるという不安でいっぱいになります。麻生財務相（当時）は、ナチスに学んで静かに気づかれないように行えばよいと発言しまし

すよ」という言葉が現実化しています。戦争への道か平和への道か大きな分岐点にたっている今だからこそ、自らの語る力をつけて、対話をしなければならな

易しいことを易しく、深く・深いことを面白く、面白いことをより面白く」という言葉が浮かびます。対話を通じて理解をしようというとは、若い世代の未来を守ることでもあると思っています。ぜひ平和のバトンを手渡したい。